

★人工知能と知識処理研究会 (AI)

専門委員長 栗原 聡 副委員長 松原繁夫・菅原俊治
幹事 森山甲一・片上大輔

★サービスコンピューティング研究会 (SC)

専門委員長 村上陽平 副委員長 石川冬樹
幹事 田仲正弘

日時 8月20日(月) 13:00~17:40

会場 国立情報学研究所 12F 会議室 (<http://www.nii.ac.jp/access> 石川冬樹 (NII)・川村隆浩 (東芝))

議題 「サービス・クラウドにおける AI 応用」及び一般

1. [招待講演] Web 開発者のための大規模サービス技術入門 (仮) 田中慎司 (はな)
2. Zigbee 規格を利用したワイヤレス高齢者見守りセンサシステム ○坪井辰之助・大塚孝信・吉村卓也・伊藤孝行 (名工大)
3. 発表スライド・音声・キーワードの構造化による議事録作成システムの提案 ○金子裕希・真部雄介・菅原研次 (千葉工大)
4. SaaS 型クラウド・システム WebELS による教育・研究の国際連携 上野晴樹 (NII)
5. エンタープライズクラウドのサービスレベル管理の自動化を支援する管理機構の開発と評価 ○大野允裕・外川遼介・富沢伸行・八木真二郎・岡田 勲 (NEC)
6. サービスコンピューティングによる実用的アプリケーションのマッシュアップ ○須永 宏・相原隆志・古川里奈 (阪工大)
7. 階層的サービス連携のためのキャッシュ機構 ○田仲正弘・村上陽平 (NICT)
8. SCC/ICWS/CLOUD2012 の会議報告 村上陽平 (NICT)

☆AI 研究会

【問合せ先】

人工知能と知識処理研究会幹事
E-mail: ai-staff@mail.ieice.org

★ソフトウェアインタプライズモデリング研究会(SWIM)

専門委員長 堀米 明 副委員長 野地 保
幹事 片岡信弘・黒瀬 晋 幹事補佐 須栗裕樹・坂下善彦

日時 8月21日(火) 13:05~16:35

会場 東京工芸大学中野キャンパス (中野区本町 2-9-5. 地下鉄東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線: 中野坂上駅下車徒歩約 7 分. <http://www.t-kougei.ac.jp/guide/campus/access/#nakano> TEL [03] 3372-1321 宇田川佳久)

議題 インタプライズモデル化技術, 一般

1. [特別講演] ビックデータと社会基盤としての ICT 森川博之 (東大)
2. システム開発における要件定義の効率化について ○石野正彦 (福井工大)・工藤 司 (静岡理工大)・五月女健治 (法政大)・片岡信弘 (東海大)
3. ヴァーチャルマシンの分散バックアップモデルの検討 有野真史
4. マイコンセンサを使ったクールビズの効果測定について

5. Measuring structure metrics of Java framework Struts 2 Yoshihisa Udagawa (Tokyo Polytechnic Univ.)
6. R を活用した M2M ストリーム分析システムの試作 ○北上真二 (三菱電機)・山本森樹 (アイテック)・小泉寿男 (東京電機大)

【問合せ先】

坂下善彦 (湘南工科大)
E-mail: sakasita@info.shonan-it.ac.jp

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 山本和英 副委員長 増市 博・竹内孔一
幹事 柳原 正・西崎博光 幹事補佐 金山 博・大塚裕子

日時 8月30日(木) 13:00~17:55
31日(金) 10:00~16:30

会場 富士ゼロックス R & D スクエアホール (横浜市西区みなとみらい 6-1. JR・東急・京急・相鉄・地下鉄: 横浜駅徒歩 8 分. みなとみらい線: 新高島駅徒歩 3 分. <http://www.fujixerox.co.jp/company/profile/location/map002.html>)

議題 第 2 回テキストマイニング・シンポジウム

30 日 抽出

1. 節の分類情報を用いた地方議会会議録における要求・要望表現抽出 ○葦原史敏 (北大)・木村泰知 (小樽商科大)・荒木健治 (北大)
2. 営業支援システム内に蓄積されたテキストデータからの課題記述文抽出 ○杉原大悟・大熊智子・佐竹功次・三浦康秀・服部圭悟・増市 博 (富士ゼロックス)
3. 特許文書からの化学物質情報の抽出 ○田中一成・池田紀子 (富士通研)
4. [基調講演] テキストマイニングの可能性—有用性と研究の発展性— 那須川哲哉 (日本 IBM)

分析

5. 日中時系列ニュース・ブログにおけるトピックモデルの推定と分析 ○胡 碩・鄭 立儀・高橋佑介・小池大地・牧田健作・宇津呂武仁 (筑波大)・吉岡真治 (北大)
6. 検索ホットワードとブログ系テキストの関係を探る ○菊井玄一郎・門内健太 (岡山県立大)・高橋寛幸 (NTT レゾナント)
7. コメントとしてつぶやかれた短文の感情推定 但馬康宏 (岡山県立大)

31 日午前 情報の整理

1. 障害対応記録からの関連キーワード抽出と可視化手法の検討 ○瀬川 修 (中部電力)・村上一彦・古里宗寛 (中電シティーアイ)
2. 閲覧目的を考慮した Web リソースの多視点クラスタリングシステムの提案と試作 ○田中 純・吉田博哉 (神戸情報大)
3. 時系列テキストデータからのアラート情報の抽出と俯瞰 ○塚原朋哉・高梨勝敏・宮内秀彰・佐藤俊也 (日立東日本ソリューションズ)
4. 高齢者の履歴書からの特徴語抽出によるスキルの発見とマッチング ○三浦貴大 (東大)・小林正朋 (日本 IBM)・檜山 敦 (東大)・高木啓伸 (日本 IBM)・廣瀬通孝 (東大)

31 日午後 (13:30~)

5. [招待講演] 調整中

検索・調査

- 6. クエリと説明文の関係を表す記述要素辞書の構築
○久保木武承・山本和英 (長岡技科大)
- 7. 手掛かり語による論文概要中の問題文の特徴付け
○酒井敏彦・廣川佐千男 (九大)
- 8. テキストマイニングにおける通信路復号化と情報源復号化一
校訂・ウィルス予防・情報源誤り訂正・統一
得丸公明 (システムエンジニア)

○30日 18:20~20:20, 懇親会を開催します.

☆NLC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月27日(土), 28日(日) はこだて未来大 [8月17日(金)] テーマ:感情・評価・態度

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 大町真一郎・柏野邦夫
幹事 飯山将晃・関 真規人 幹事補佐 田中 宏・堀田政二

★情報論的学習理論と機械学習研究会 (IBISML)

専門委員長 上田修功 副委員長 鷺尾 隆・樋口知之
幹事 杉山 将・井手 剛 幹事補佐 持橋大地・大羽成征

日時 9月2日(日) 10:00~18:00
3日(月) 9:30~17:00

会場 東京農工大学小金井キャンパス工学部講義棟 1F L0012
(第一会場), L0013 (第二会場) (小金井市中町 2-24-16. JR
中央線:東小金井駅下車, 南口から徒歩約10分. http://www.tuat.ac.jp/basic_information/access/koganei/route/index.html TEL [042] 388-7583 堀田政二)

議題 コンピュータビジョンとパターン認識のための機械学習及び企業ニーズセッション

2日午前 一般セッション1 (10:00~11:30)

IBISML-1. 公正・差別配慮型マイニングのサーベイ
神鷲敏弘 (産総研)

IBISML-2. 木構造を用いたグラフ分割の構造変化検知について
○佐藤翔一・山西健司 (東大)

PRMU-3. 発見的自己組織化の原理を用いてニューラルネットワーク構造を自己組織化する改良形 GMDH-type ニューラルネットワークによる肝臓癌の医用画像診断

○近藤 正・上野淳二・高尾正一郎 (徳島大)

テーマセッション1 (10:00~11:30)

IBISML-4. 競合学習を用いた情報理論的クラスタリング—文書クラスタリングにおける基準及びアルゴリズムの比較—

内山俊郎 (NTT)

PRMU-5. 映像のセマンティックインデクシングのための q-混合ガウス分布
○井上中順・篠田浩一 (東工大)

PRMU-6. 距離画像センサを用いた屋内環境のための行動認識の一手法
○弓場 竜 (日立)・縣 禎輝・藤吉弘亘 (中部大)

2日午後 特別講演 (13:00~14:00)

IBISML-7. [特別講演] IBM における機械学習研究と応用
井手 剛 (IBM)

一般セッション2 (14:15~15:45)

PRMU-8. Multi instance multi label classification by using KNN for feature selection
○Shuang Bai・

Tetsuya Matsumoto (Nagoya Univ.)・

Yoshinori Takeuchi (Daido Univ.)・Hiroaki Kudo・

Noboru Ohnishi (Nagoya Univ.)

PRMU-9. Conformal Geometric Algebra を用いた道路物理境界検出
○石田皓之・目黒淳一・小島祥子・内藤貴志 (豊田中研)

PRMU-10. 画像内テキスト領域の検出
○平野廣美 (楽天技研)・岡部 誠 (電通大/JST PRESTO)
一般セッション3 (CVIM) (14:15~15:45)

11. 屋外環境に適した自己位置推定及び地図生成アルゴリズム
○上田雄大・新田直也 (甲南大)

12. 輪郭によるフェイスアライメントにおける姿勢変化への対応のための顔輪郭の利用について
○高野博幸・

出口光一郎 (東北大)

13. 多波長画像を用いた照度差ステレオ法の精度向上
○高谷剛志・向川康博・八木康史 (阪大)

企業ニーズセッション (16:00~18:00)

14. 企業ニーズセッション
パネリスト: 柴藤 稔 (NTTドコモ)・松田晃一 (ソニー)・鷺見和彦 (青学大)・他 (予定)

3日午前 テーマセッション2 (10:00~11:30)

PRMU-1. 照明適応を含むパターン認識系の構成と顔追跡・認識への応用
○尺長 健・中岸久佳・岡 裕希 (岡山大)

PRMU-2. 混合ガウスモデルを用いた画像アノテーション手法に対するノンパラメトリックベイズ法の適用
○坪下幸寛・

加藤典司・福井基文 (富士ゼロックス)・岡田真人 (東大)

PRMU-3. 車載カメラを用いた走行環境適応型歩行者検出器に関する予備的検討
○鈴尾大地・出口大輔・井手一郎・

村瀬 洋 (名大)・町田貴史・小島祥子 (豊田中研)

一般セッション4 (9:30~11:30)

PRMU-4. 大規模画像データセットを用いたマルチクラス物体検出器の同時学習—物体毎に特化した負例クラスの導入—

○金崎朝子・稲葉 翔・牛久祥孝・山下裕也・村岡宏是・原田達也・國吉康夫 (東大)

PRMU-5. [サーベイ論文] 統計的学習手法による人検出

○山内悠嗣 (中部大)・山下隆義 (おもろ)・藤吉弘亘 (中部大)

PRMU-6. グループ内関係性を用いた複数人行動認識
○小田嶋成幸・下坂正倫・金子卓弘・福井 類・

佐藤知正 (東大)

3日午後 チュートリアル (13:00~14:00)

7. スパース表現の数理とその応用
○村田 昇・

日野英逸 (早大)

一般セッション5 (14:15~15:45)

PRMU-8. これまでの PRMU アルゴリズムコンテストを振り返って
○出口大輔 (名大)・亀田能成・北原 格 (筑波大)・

近藤一晃 (京大)・島田敬士 (九大)・日浦慎作 (広島市大)

PRMU-9. オプティカルフロー計算の多重解像度の階層的性質
○亀田裕介・井宮 淳 (千葉大)・酒井智弥 (長崎大)

PRMU-10. オプティカルフロー計算の境界条件の性質
○亀田裕介・井宮 淳 (千葉大)・酒井智弥 (長崎大)

CVIM コメント制度セッション (14:15~15:45)

11. ドロネー三角形分割を用いた事後確率分布推定に基づくスコアレベル統合
○榎原 靖 (阪大)・

モハマド アルタブ ホサイン (ラジック大)・村松大吾・

岩間晴之・チュン タン ゴ・八木康史 (阪大)

12. 複数プロジェクトを利用した情報の計測・提示システムとその応用
○坂上文彦・佐藤 淳 (名工大)

13. 共面性条件による3次元復元とその自由度について

○古川 亮 (広島市大)・川崎 洋 (鹿児島大)・
佐川立昌 (産総研)

一般セッション6 (16:00~17:00)

PRMU-14. NN-based Local Subspace Method for Image Registration with Sparse Dictionary ○Hayato Itoh・
Atushi Imiya (Chiba Univ.)・Tomoya Sakai (Nagasaki Univ.)

PRMU-15. 撮影時期の異なる同一シーン画像間の照合方式に関する研究 ○石丸光宏・佐藤 誠 (東工大)

一般セッション7 (16:00~17:00)

PRMU-16. 多様なスケールでの関係を考慮した条件付き確率場による集団行動認識 ○金子卓弘・下坂正倫・
小田嶋成幸・福井 類・佐藤知正 (東大)

PRMU-17. 生成型学習法を用いた傘をさした歩行者の高精度な検出に関する検討 ○吉田英史・出口大輔・井手一郎・
村瀬 洋 (名大)・町田貴史・小島祥子 (豊田中研)

◆情報処理学会; コンピュータビジョンとイメージメディア研究会連催

☆PRMU 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月4日(木), 5日(金) 幕張メッセ〔締切済〕テーマ: パターン認識によるインタフェースの未来

12月13日(木), 14日(金) 山形大〔10月8日(月)〕テーマ: 持続可能な社会に貢献するパターン認識

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】
PRMU 研究会幹事
E-mail: prmu-kanji@mail.ieice.org

☆IBISML 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月7日(水)~9日(金) 筑波大東京キャンパス文京校舎〔9月12日(水)〕

テーマ: 第14回情報論的学習理論ワークショップ

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

——北海道支部における開催——

★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 石田 修 副委員長 水落隆司
幹事 平野 章・斎藤恒聡

★光ファイバ応用技術研究会 (OFT)

専門委員長 富田 茂
幹事 伊藤文彦・椎野雅人 幹事補佐 山田裕介・今村勝徳

◎本研究会は OCS 研究会と OFT 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 8月30日(木) 13:15~17:20

31日(金) 9:00~17:40

会場 サン・リフレ函館 (函館市大森町 2-14. 函館空港から車で 20 分. JR 函館駅から徒歩 15 分. 市電松風町停留所から徒歩 10 分. 函館バス: サン・リフレ函館前停留所から徒歩 1 分.
<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/keizai/roudou/s-refre/access/address.html>)

議題 【光ファイバ伝送路】光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光信号処理, 光ファイバ型デバイス, 光測定器, レーザ加工, ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般

30日

OCS-1. 逆結合型長周期ファイバグレーティングの結合条件 ○中野剛司・西 壽巳 (阪工大)

OCS-2. Laminated polymer waveguide fan-out device for uncoupled multi-core fibers ○Tatsuhiko Watanabe・
Yasuo Kokubun (Yokohama Nat'l Univ.)

OCS-3. マルチコアファイバ用ファイババンドルタイプファンアウトの開発 ○渡辺健吾・齋藤恒聡・今村勝徳・
椎野雅人 (古河電工)

OFT-4. マルチコアファイバ用ファンイン, ファンアウト部品のコア配列 ○八若正義・田中正俊・佐々木 茂・
藤巻洋介・谷口浩一 (三菱電線)

OFT-5. マルチコアファイバ用インターフェイスに関する検討 ○小倉 明・大園和正・姚 兵・渡邊智紀 (日立電線)・
関谷晴彦エジソン・齋藤和也 (豊田工大)

OFT-6. マルチコア伝送用のバンドル型光ファイバアンプの検討 ○辻川恭三・馬 麟 (NTT)・市井健太郎・
松尾昌一郎 (フジクラ)・山田 誠 (阪府大)・半澤信智・
小野浩孝 (NTT)

OCS-7. A bend-insensitive heterogeneous trench-assisted multi-core fiber with large effective area ○Jiajing Tu・
Kunimasa Saitoh・Masanori Koshiba (Hokkaido Univ.)・
Katsuhiko Takenaga・Shoichiro Matsuo (Fujikura)

OCS-8. Aeff 拡大型 2 モードマルチコアファイバ ○竹永勝宏・佐々木雄佑・官 寧・松尾昌一郎 (フジクラ)・
笠原基幹・齋藤晋聖・小柴正則 (北大)

OCS-9. マルチコアファイバのクロストークの Q 値への影響 ○林 哲也・佐々木 隆・笹岡英資 (住友電工)

31日午前

OFT-1. 多角形クラッドマルチコアファイバの機械強度特性 ○田中正俊・石田智彦・藤巻洋介・楠 修一・
谷口浩一 (三菱電線)

OFT-2. Fiber Fuse in Multi Core Fibers ○Edson Haruhico Sekiya・
Kazuya Saito (Toyota Technological Inst.)・
Yao Bing・Akira Ogura・Kazumasa Ohsono (Hitachi Cable)

OFT-3. 広帯域零モード分散を実現するモード分割多重伝送用 2 モード光ファイバの検討 ○丸山 遼・桑木伸夫・
松尾昌一郎・佐藤公紀 (フジクラ)・大橋正治 (阪府大)

OFT-4. 群遅延補償伝送路を用いた WDM-MIMO 伝送 ○坂本泰志・森 崇嘉・山本貴司 (NTT)・
富田 茂 (NTT-AT)

OCS-5. 選択的モード励振による GI-MMF を用いた広帯域 WDM コヒーレント光 MIMO 伝送 ○森 崇嘉・
坂本泰志・山本貴司・東 裕司 (NTT)

OCS-6. 2 モードファイバでのモード分割多重伝送における MIMO 信号処理の要求演算量 ○中澤昌哉・吉田悠来・
丸田章博・北山研一 (阪大)

OCS-7. リングコア型純シリカコアファイバ ○春名徹也・
田村欣章・平野正晃・佐々木 隆 (住友電工)

31 日午後 (13:10~)

OFT-8. Refractive Index Profile Changes Caused by Arc Discharge in Arc-Induced Long-Period Fiber Gratings

Fatemeh Abrishamian (Osaka Electro-Comm. Univ.)・
Nicoleta Dragomir (Victoria Univ.)・

○Katsumi Morishita (Osaka Electro-Comm. Univ.)

OFT-9. 固形屈折率整合材を用いた新しい光ファイバ接続方法の提案

○田中正徳・渡辺 汎・木原 満・
高谷雅昭 (NTT 東日本)

OFT-10. 固形状屈折率整合剤を用いた外被把持スプライスの損失特性

○齊藤浩太郎・中島和秀・倉嶋利雄 (NTT)

OFT-11. 多心低摩擦インドアケーブルの開発

○塚本昌義・今田栄治・岡田 昇 (古河電工)

OCS-12. 強く結合した 2 次元 2 平行導波路系における光の挙動の解析解と近似解—強結合導波路アレイにおける光の挙動に対する近似法の提案—

狐崎直文 (青学大)

OCS-13. Influence of channel misalignment of time-interleaved DAC on sensitivity degradation in coherent receivers

○Changyo Han・Koji Igarashi・
Kazuro Kikuchi (Univ. of Tokyo)

OCS-14. Alleviation of Additional Phase Noise in Saturated Optical Parametric Amplifier Based Signal Regenerator

○Jin Lei・Xu Bo・Shinji Yamashita (Univ. of Tokyo)

OFT-15. AR 技術を用いた所内光作業ナビゲーションシステムの作業性に関する検討

○大串幾太郎・片山和典・
東 裕司 (NTT)

OFT-16. 外被把持型波長選択ターミネーションの高遮断化

○真保 誠・荒木則幸・碓 茂樹 (NTT)

OFT-17. フィルタ直付けファイバを用いた光検出コネクタの開発

○井上園美・増田有希・白石維孝・濱田眞弘・
平尾浩司 (住電オプコム)

☆OCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 25 日 (木), 26 日 (金) ホテルメリージュ (宮崎) [8 月 13 日 (月)] テーマ: 超高速伝送・変復調・分散補償技術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅・WDM 技術, 受光デバイス, 高光出力伝送技術, 一般 (ECOC 報告)

11 月 21 日 (水), 22 日 (木) 市民会館崇城大学ホール [9 月 7 日 (金)] テーマ: 光アクセスシステム・次世代 PON, 地上・衛星放送システム, 衛星通信システム, CATV システム, イーサネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファイバ測定技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備, 家庭用受信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有効利用技術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション技術, 無線・光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路設計技術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・可視光伝送, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

斎藤恒聡 (古河電工)

TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340

E-mail: tsune@ch.furukawa.co.jp

◎OCS ホームページ

<http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php>

第一種研究会開催案内

◎OCS 研究会では, 2007 年より「光通信システム研究会奨励賞」及び「光通信システム研究会論文賞」を設立しました。毎年 9 月～翌年 8 月の OCS 研究会に投稿した論文を対象に選考し, 翌年 12 月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくは OCS ホームページを御覧下さい。

☆OFT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 25 日 (木), 26 日 (金) 海峡メッセ下関 [8 月 6 日 (月)] テーマ: 一般

11 月 21 日 (水), 22 日 (木) 市民会館崇城大学ホール [9 月 7 日 (金)] テーマ: 光アクセスシステム・次世代 PON, 地上・衛星放送システム, 衛星通信システム, CATV システム, イーサネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファイバ測定技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備, 家庭用受信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有効利用技術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション技術, 無線・光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路設計技術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・可視光伝送, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

今村勝徳 (古河電工)

TEL [0436] 42-1728, FAX [0436] 42-9340

E-mail: imamura.katsunori@furukawa.co.jp

★フットニックネットワーク研究会 (PN)

専門委員長 和田尚也

副委員長 荒木壮一郎・坂野寿和・戸出英樹

幹事 大木英司・長谷川 浩

幹事補佐 荒川伸一・品田 聡・釣谷剛宏

日時 8 月 30 日 (木) 13:00~17:00

31 日 (金) 13:00~14:50

会場 北見工業大学 (北見市公園町 165. JR 北見駅より北海道北見バス乗車, 「工業大学入口」停留所で下車し徒歩 10 分弱。
http://www.kitami-it.ac.jp/public_relations/outline/about-kit/place.html)

議題 フットニックネットワーク関連技術, 一般

30 日

1. スーパーコンピューターやデータセンター網でのアナログコヒーレント受光 太田昌孝 (東工大)
2. 16 QAM 光パケットスイッチングと小型ファイバ遅延線バッファの検討 ○品田 聡・中村守里也・和田尚也 (NICT)
3. 位相変調器を用いたスペクトル圧縮技術の 6 bit 光量子化への適用 ○佐藤豪真 (阪大)・
Aymeric Van de Walle (LCFIO)・伊東一良・
小西 毅 (阪大)
4. デュアルレール全光量子化を用いた 6 bit 全光量子化の検討 ○永島知貴・佐藤豪真 (阪大)・
Aymeric Van De Walle (LCFIO)・伊東一良・
小西 毅 (阪大)
5. 光 CDM を用いた非競合光ブロードキャストネットワークの構築 ○福田達也・馬場健一・下條真司 (阪大)

6. [招待講演] OpenFlow enabled software-defined packet transport network ○林谷昌洋・飯澤洋平・長谷川洋平・水越康博・荒木壮一郎 (NEC)

7. [招待講演] ネットワークをフル活用した戦略的防衛医療構想—医療クラウドと情報薬— ○辰巳治之・新見隆彦・溝口照悟 (札幌医大)

31日

1. 多様なパス設定要求に即時に回答できる光ネットワーク情報管理システム ○高田将司・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

2. Content-based Switching Network—An Architecture for Both Small and Large Contents Switching—

○Christophe Michard・Yosuke Tanigawa・Hideki Tode (Osaka Prefecture Univ.)

3. 光パケット・光パス統合ネットワークテストベッドに向けた経路設定ソフトウェアの開発 ○古川英昭・宮澤高也・和田尚也・原井洋明 (NICT)

4. Analysis of Optical Path/Packet Integrated Networks

○Onur Alparslan・Shin'ichi Arakawa・Masayuki Murata (Osaka Univ.)

◎PN ワークショップ (合宿形式) 及び PN 学生ワークショップ (31日 9:30~12:00) を同時に開催します。

☆PN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月5日(月), 6日(火) 日本女子大 [9月14日(金)]
テーマ: IP バックボーンネットワーク, MPLS, GMPLS, フォトニックネットワーク及び一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

大木英司 (電通大)

TEL [042] 443-5195, FAX [042] 443-5926

E-mail: oki@ice.uec.ac.jp

長谷川 浩 (名大)

TEL [052] 789-4423, FAX [052] 789-3641

E-mail: hasegawa@nuee.nagoya-u.ac.jp

——東北支部における開催——

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 小野一穂 副委員長 三好正人・岩谷幸雄

幹事 大谷 真・戸上真人 幹事補佐 水町光徳

日時 8月1日(水) 14:00~17:50

2日(木) 10:00~15:30

会場 東北学院大学土樋キャンパス (仙台市青葉区土樋1-3-1)

JR 仙台駅から徒歩20分または地下鉄五橋駅または愛宕橋駅から徒歩5分。 <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campusmap/tsuchitai.html> TEL [022] 368-7196 岩谷幸雄)

議題 音響信号処理, 聴覚, 一般

1日

1. GPU クラスタによる音空間レンダリングと高精細可聴化

○土屋隆生・石井琢人 (同志社大)・岩谷幸雄 (東北学院大)・大谷 真 (信州大)

2. 252ch リアルタイム音空間情報取音再生システム SENZI の音空間再現精度改善手法の検討 ○坂本修一・松永純平 (東北大)・本郷 哲 (仙台高専)・

岡本拓磨 (NICT)・岩谷幸雄 (東北学院大)・

鈴木陽一 (東北大)

3. スケラブルオーディオ符号化のための可聴化雑音の抑圧

安藤彰男 (NHK)

4. Study on method of digital-audio watermarking based on cochlear delay in sub-bands ○Ngo Nhut Minh・

Wang Shengbei・Masashi Unoki (JAIST)

5. Study on Power Envelope Subtraction Based on Modulation Transfer Function ○Yang Liu・Masashi Unoki (JAIST)

2日午前

1. デジタルチャンネルデバィダを用いたスピーカシステムの音質改善 ○富永秀樹・豊沢 聡 (徳山大)

2. 頭部回転に頑健なクロストークキャンセラのためのラウドスピーカ配置 ○韓 チョルス (東北大)・岡本拓磨 (NICT)・

岩谷幸雄 (東北学院大)・鈴木陽一 (東北大)

3. オーディオ再生方式が AV コンテンツの臨場感に及ぼす影響とそのモデル化 大日方将士・○小澤賢司・

木下雄一朗 (山梨大)

2日午後 (13:30~)

4. 骨伝導アクチュエータによるラウドネスと加速度特性の関連性について—耳道挿入型及び下顎頭装着型アクチュエータ—

○福田吉真・荻木禎史・宇佐川 毅 (熊本大)

5. 予測誤差法を用いた頭部伝達関数の多方向推定における同時推定方向数の検証 ○石川健太郎 (慶大)・

丸田一郎 (京大)・足立修一 (慶大)・松井健太郎・

安藤彰男 (NHK)

6. 反射を含むインパルス応答を用いた AR モデルに基づく頭部伝達関数の推定—複数音源位置のインパルス応答を用いた推定手法の検討— ○高根昭一・安倍幸治・渡邊貫治・

佐藤宗純 (秋田県立大)

◆日本音響学会; 電気音響研究会, 聴覚研究会共催

◎1日研究会終了後に懇親会を開催しますので, 御参加下さい。

☆EA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月 休会

10月27日(土), 28日(日) 牛岳温泉リゾート (富山) [未定] テーマ: 一般

11月 大分 [未定]

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

戸上真人 (日立中研)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7823

E-mail: masahito.togami.fe@hitachi.com

★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 竹村泰司 副委員長 高野 泰

幹事 圓佛晃次・阿部克也 幹事補佐 小館淳一・佐藤知正

日時 8月8日(水) 13:00~17:40

9日(木) 9:00~12:35

会場 山形大学工学部100周年記念会館セミナー室

議題 電子部品・材料, 一般

8日

1. HWCVD 法により低温形成した SiC 薄膜の成長圧力依存性

○阿部克也・周 澤宇・山上朋彦 (信州大)

2. Si (100) 基板/AlN 中間層上への 3C-SiC ヘテロエピタキシャル成長 ○中澤日出樹・鈴木大樹・成田次理・山本陽平 (弘前大)
3. ガスソース MBE 法による高密度 Ge ナノドット/SiC 積層構造の作製とその発光特性 ○姉崎 豊・佐藤 魁・加藤孝弘・加藤有行 (長岡技科大)・末光真希 (東北大)・中澤日出樹 (弘前大)・成田 克 (山形大)・安井寛治 (長岡技科大)
4. MOVPE 法による Si 基板上 GaP と Si 表面処理の関係 高木達也・宮原 亮・堀江陽介・○高野 泰 (静岡大)
5. 塩素還元法を用いた W 及び Si の低温薄膜形成 ○柴田 明・渡邊雄仁・鹿又健作・鈴木貴彦・廣瀬文彦 (山形大)
6. 銅電極を用いたボトムコンタクト型有機 TFT の高性能化 ○宇津野裕弥・佐藤 翼・奥 慎也・水上 誠・福田憲二郎・熊木大介・時任静士 (山形大)
7. インクジェット法で形成した銀ナノ粒子電極を有するボトムコンタクト型有機 TFT のコンタクト抵抗 ○小林 悠・竹田泰典・南木 創・菅野 亮・福田憲二郎・熊木大介・時任静士 (山形大)
8. 有機太陽電池の反射防止多層膜のロバスト最適化 ○久保田 繁・鹿又健作・初山克章・鈴木貴彦・廣瀬文彦 (山形大)
9. MoOx ホール輸送層を用いた有機薄膜太陽電池の Ag 微粒子導入効果 ○吉田一樹・丹野優樹・栗原 啓・鹿又健作・初山克章・鈴木貴彦・久保田 繁・廣瀬文彦 (山形大)
10. P3HT/n-Si のヘテロ接合を用いた太陽電池の高効率化の検討 ○金子 翔・大山直樹・鹿又健作・初山克章・久保田 繁・廣瀬文彦 (山形大)

9日

1. 固相反応法を用いた鉄シリサイド薄膜の試作と整流デバイスへの応用 ○初山克章・鹿又健作・久保田 繁・廣瀬文彦 (山形大)
2. 反応性スパッタによる ZrN_x ナノ結晶バリア膜の形成過程 ○佐藤 勝・武山真弓 (北見工大)・青柳英二 (東北大)・野矢 厚 (北見工大)
3. ラジカル反応を応用した低温での SiN_x 膜の作製 ○武山真弓・佐藤 勝 (北見工大)・中田義弘・小林靖志・中村友二 (富士通研)・野矢 厚 (北見工大)
4. DC-RF マグネトロンスパッタ法における Cr₂O₃ 薄膜の作製 ○中村拓未・黒田卓司・岩田展幸・山本 寛 (日大)
5. 面内配向単層カーボンナノチューブの自由電子レーザー照射効果 ○相良拓実・土肥智史 (日大)・石井宏治・矢島博文 (東京理科大)・岩田展幸・山本 寛 (日大)
6. 酸化チタンナノチューブ微小ガスセンサの作製 ○木村康男・小島領太・木村昭太・庭野道夫 (東北大)
7. 陽極酸化 TiO₂ ナノチューブ形成過程に及ぼす電解液組成の影響 ○小島領太・木村康男・庭野道夫 (東北大)
8. 赤外吸収分光を用いたシリコン酸化膜の室温原子層堆積法の素過程評価 ○鹿又健作・初山克章・久保田 繁・廣瀬文彦 (山形大)

☆CPM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 8月23日(木), 24日(金) 東北大通研〔締切済〕テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般
- 9月25日(火) 機械振興会館〔締切済〕テーマ: 光記録技術・電子材料, 一般

第一種研究会開催案内

★信頼性研究会 (R)

専門委員長 渡邊 均 副委員長 木村光宏
幹事 馬渡宏泰・田村信幸
幹事補佐 安里 彰・岡村寛之・マラット ザニケエフ

★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕
幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 竹村泰司 副委員長 高野 泰
幹事 圓佛晃次・阿部克也 幹事補佐 小館淳一・佐藤知正

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 清水健男 副委員長 山田博仁
幹事 小川憲介・植之原裕行 幹事補佐 橋本俊和

★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 津田裕之 副委員長 松尾慎治
幹事 篠田和典・田中 有

日時 8月23日(木) 9:30~18:25
24日(金) 9:00~18:10

会場 東北大学電気通信研究所ナノ・スピコン総合研究棟4階カンファレンスルーム (<http://www.riec.tohoku.ac.jp/access/index-j.shtml>) 廣岡俊彦)

議題 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般
23日午前

1. 二重格子ゲート HEMT 中二次元電子ガスにおけるプラズマ不安定性 ○佐藤 昭・志田広海 (東北大)・Viacheslav V. Popov (RAS)・尾辻泰一 (東北大)
2. 半導体レーザの周波数雑音特性を用いた物理乱数の生成—発振周波数安定化が物理乱数に及ぼす影響に関する考察— ○齊藤高大・古川元一・新井秀明・佐藤 孝・坂本秀一・大河正志 (新潟大)
3. 面発光型半導体レーザの周波数雑音を利用した物理乱数の生成に関する研究 ○川上航平・前原進也・土井康平・新井秀明・近藤堯信・清水直弥・佐藤 孝・坂本秀一・大平泰生・大河正志 (新潟大)
4. 磁界印加時における面発光型半導体レーザの発振特性変化の研究 ○田平慎一・河野桂子・土井康平・佐藤 孝・大河正志 (新潟大)
5. Rb 原子の吸収線の飽和吸収分光法を用いた半導体レーザの発振周波数安定化とその応用 ○高田康平・二文字俊哉・松本航平・佐藤 孝・大河正志 (新潟大)
6. 光周波数安定化 Cs 光原子時計の性能改善 ○得平和成・鈴木文崇・吉田真人・中沢正隆 (東北大)

23日午後 (13:15~)

7. [特別招待講演] 半導体発光デバイスの信頼性研究—総論と1990年代以降のトピックス— 上田 修 (金沢工大)
8. AlGaInAs 端面発光型レーザの信頼性向上 ○市川弘之・生駒暢之 (住友電工)
9. 光インターコネクション向け 1060 nm 帯面発光レーザー (VCSEL) における信頼性 ○神谷慎一・今井 英・舟橋政樹・鈴木理仁・平岩浩二・喜瀬智文・中村照幸・清水 均・石川卓哉・粕川秋彦 (古河電工)

告 11

10. GaInAsP/InP 半導体薄膜 DFB レーザの電流注入動作と熱特性解析 ○土居恭平・進藤隆彦・二見充輝・雨宮智宏・西山伸彦・荒井滋久 (東工大)
11. 電流注入フォトニック結晶レーザ ○松尾慎治・佐藤具就・武田浩司 (NTT)
12. InAs/InGaAs 量子ドット構造を用いた広帯域光ゲインデバイスの開発 ○吉岡佑毅 (東京電機大)・山本直克・赤羽浩一・川西哲也 (NICT)・高井裕司 (東京電機大)・外林秀之 (青学大)
13. Optical properties of InGaAs/GaAsSb Type-II quantum-well light-emitting diodes Sundararajan Balasekaran・○Hiroshi Inada・Yasuhiro Iguchi・Michio Murata・Tsukuru Katsuyama (Sumitomo Electric)
14. 波長可変面発光レーザとスローライト光増幅器の平面集積構造の検討 ○中濱正統・佐野勇人・島田敏和・松谷晃宏・小山二三夫 (東工大)
15. ポリノルボルネン光導波路を用いた 24 チャンネル光電気複合モジュールの 16 Gbps/ch 伝送性能の実証 ○伊藤有香・寺田信介・兼田幹也・堀元章弘・荒井進也・長木浩司 (住友ベークライト)
16. 接合型自己形成光導波路の作製 ○杉原興浩・安田周平・戒能俊邦 (東北大)
- 24 日午前**
1. 分散チューニングを用いた高速・広帯域波長可変ファイバレーザの OCT 応用 ○田久保勇也・山下真司 (東大)
2. PMMA 含有 SWNT を可飽和吸収体として用いた 1.07 μm 帯受動モード同期 Yb ファイバレーザ ○吉田真人・堀 雄一郎・廣岡俊彦・中沢正隆 (東北大)
3. SWNT を用いた受動モード同期ファイバレーザの高出力化 ○小野敬人・堀 雄一郎・吉田真人・廣岡俊彦・中沢正隆 (東北大)・真多淳二・塚本 遵 (東大)
4. [招待講演] OECC2012 報告—パッシブデバイス・モジュール関連— 神田 淳 (NTT)
5. [招待講演] OECC2012 報告—アクティブデバイス— 望月敬太 (三菱電機)
6. 小型電気光複合アセンブリを用いたアクティブ光ケーブル ○大竹 守・阿部真也・西出研二 (フジクラ)
- 24 日午後 (12:45~)**
7. Ge 量子ドットを有するフリースタANDING構造 Si マイクロリング共振器の作製とその光学特性の評価 ○千葉太一・徐 学俊 (東京都市大)・宇佐美徳隆 (東北大)・丸泉琢也・白木靖寛 (東京都市大)
8. ワンチップ WDM レシーバに向けた石英系 AWG と GePD の Si プラットフォーム上モノリシック集積 ○西 英隆・土澤 泰・高 磊・開 達郎・福田 浩 (NTT)・石川靖彦・和田一実 (東大)・山田浩治 (NTT)
9. シリコン細線光導波路を用いた狭線幅波長可変レーザーの開発 ○北 智洋・根本景太・山田博仁 (東北大)
10. 小型・低電力動作 SiGe/Si 光スイッチ ○関口茂昭・倉橋輝雄・朱 雷・河口研一・森戸 健 (富士通研)
11. 液晶空間光変調器を用いた光スイッチ用高速収差補償アルゴリズム ○反本啓介 (慶大)・金高健二・河島 整・森 雅彦・挾間壽文・石川 浩 (産総研)・津田裕之 (慶大)・上塚尚登 (日立電線)
12. 石英系平面光波回路に集積した波長選択スイッチ用空間ビーム変換器 ○妹尾和則・鈴木賢哉・大庭直樹・渡辺俊夫・伊東雅之・阪本 匡・高橋哲夫 (NTT)
13. 光空間トランジスタの発明 ○岡本研正・藤田順一・渡辺健人・細川浩司 (香川大)
14. 光空間サイリスタの発明 ○藤田順一・岡本研正・波多江和喜 (香川大)
15. 光ファイバの機械強度に関する信頼性について ○麻生 修・松藤敏夫・石川卓哉・忠隈昌輝・乙須総一郎・八木 健・奥 誠人 (古河電工)
16. ニューテーション試験による LC コネクタ付光ケーブルの機械耐性評価 ○阿部宜輝・小林潤也・柳 秀一 (NTT)・長瀬 亮 (千葉工大)
17. BOF を用いた光ファイバセンサによる静水圧測定 ○松田健太郎・仲川雄大・長瀬 亮 (千葉工大)
18. レールと車輪間の電氣的接触抵抗が有する半導体特性のモデル化 ○遠山 喬・福田光芳・大和田厚祐・藤田浩由 (鉄道総研)
- ◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催, 日本信頼性学会協賛
- ◎23 日の研究会終了後に懇親会を開催しますので是非御参加下さい。
- 会費：一般 4,000 円, 学生及び招待講演者 2,000 円。
当日受付にてお申込み下さい。
- ☆R 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
10 月 19 日 (金) 九工大 [8 月 15 日 (水)] テーマ：信頼性一般
11 月 15 日 (木) 中央電気倶楽部 [9 月 17 日 (月)] テーマ：半導体と電子デバイスの信頼性, 信頼性一般
- 【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>
- 【問合先】
木村光宏 (法政大)
TEL [042] 387-6116, FAX [042] 387-6126
E-mail: kim@hosei.ac.jp
- ☆EMD 研究会今後の予定
9 月 休会
- 【問合先】
長谷川 誠 (千歳科技大)
TEL & FAX [0123] 27-6059
E-mail: hasegawa@photon.chitose.ac.jp
関川純哉 (静岡大)
TEL & FAX [053] 478-1618
E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp
服部康弘 (住友電装)
TEL [059] 382-8970, FAX [059] 382-8591
E-mail: yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp
- ◎EMD 研究会に関する最新の情報は, <http://www.ieice.org/es/emd/jpn/> を御参照下さい。
- ☆CPM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
9 月 25 日 (火) 機械振興会館 [締切済] テーマ：光記録技術・電子材料, 一般
- ☆OPE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
10 月 25 日 (木), 26 日 (金) ホテルメリージュ (宮崎) [8 月 13 日 (月)] テーマ：超高速伝送・変復調・分散補償技術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅・WDM 技術, 受光デバイス, 高光出力伝送技術, 一般 (ECOC 報告)
- 【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

小川憲介 (フジクラ)

〒285-8550 佐倉市六崎 1440

TEL [045] 924-5038, FAX [043] 481-1210

E-mail: kenogawa@lab.fujikura.co.jp

植之原裕行 (東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田 4259 R2-43

TEL & FAX [045] 924-5038

E-mail: uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp

橋本俊和 (NTT フォトニクス研究所)

〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1

TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365

E-mail: hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では、H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設しました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので、積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会 HP を御覧下さい。

☆LQE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月25日(木)、26日(金) ホテルメリージュ(宮崎) [8月13日(月)] テーマ: 超高速伝送・変復調・分散補償技術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅・WDM 技術, 受光デバイス, 高光出力伝送技術, 一般 (ECOC 報告)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

篠田和典 (日立)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7786

E-mail: kazunori.shinoda.nv@hitachi.com

◎LQE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成 18 年度より「LQE 奨励賞」を設けました。対象は発表年度の 4 月 1 日時点で 32 歳以下の若手研究者(学生を含む)です。積極的に御投稿下さい。

— 信越支部における開催 —

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一

幹事 富木淳史・灘井章嗣 幹事補佐 平田和史

日時 8月24日(金) 13:20~16:55

会場 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」(新潟市中央区笹口1-1。JR 新潟駅南口徒歩3分, <http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/access.html> TEL [025] 248-8141 (会場) TEL [025] 262-6752 小林弘一)

議題 環境計測及び一般

1. 衛星搭載降雨レーダの観測における降雨エコーと地表面エコーの分離について 阿波加 純 (東海大)

2. 電界ベクトル計測を用いた雪氷の誘電率推定手法の検討

○長 康平 (ウェザーニューズ)・

ヨサファット テトオコ スリ スマンティヨ・

西尾文彦 (千葉大)

3. [特別講演] 偏波レーダデータの散乱電力分解について

山口芳雄 (新潟大)

4. Polarimetric Model-Based Decomposition with Generalized Scattering Models ○Si-Wei Chen・

Motoyuki Sato (Tohoku Univ.)

5. アンテナ特性を考慮した AF による近距離レーダ画像

○稲見麻央・小林弘一・山口芳雄 (新潟大)

6. 等速直線運動モデルを使用した NPn 法 小菅義夫 (長崎大)

7. 周波数重複度を用いた系分離方式 SMF の提案

○三原詩織・網嶋 武・平田和史 (三菱電機)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

◎研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

☆SANE 研究会

【問合先】

富木淳史 (JAXA)

TEL [050] 3362-6575

E-mail: tomiki.atsushi@jaxa.jp

灘井章嗣 (NICT)

TEL [042] 327-6496

E-mail: nandai@nict.go.jp

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良

幹事 石井 望・高橋 徹 幹事補佐 道下尚文

日時 8月27日(月) 10:10~17:15

28日(火) 10:30~16:40

会場 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」(新潟市中央区笹口1-1 プラウカ1・2階。新潟駅南口から徒歩3分。 <http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/access.html> 石井 望)

議題 測定, 電力伝送, 一般

27日午前

A・P-1. 両手で保持されたタブレット端末4ブランチ MRC のインピーダンス自動整合に関する検討 ○山崎 誠・

本田和博・小川晃一 (富山大)

A・P-2. ハイブリッド結合器の特性を考慮した平衡型ダイポールアンテナの入力インピーダンス測定 ○早川準起・

石井 望 (新潟大)

A・P-3. 改良型 Wheeler 法におけるキャビティ共振による放射効率落ち込み回避法の比較 石井 望 (新潟大)

A・P-4. ループ型人工磁気導体のバンドギャップ特性

○久世竜司・堀 俊和・藤元美俊 (福井大)

27日午後

A・P-5. 高Qファクター LC 共振器を用いた 950 MHz 帯長距離電力伝送用小形高効率レクテナ ○小川晃一・尾崎和平・

山田雅樹・本田和博 (富山大)

A・P-6. 曲率をもつパッチアンテナの放射特性に関する考察

小林弘一 (新潟大)

A・P-7. Development of 9.41 GHz Microstrip Antenna for Three Dimensional Weather Radar ○Sugar Adiya・

Josaphat Tetuko Sri Sumantyo・Takafumi Kawai・

Kohei Osa・Hiroaki Kuze (Chiba Univ.)

WPT-8. AGV 用非接触充電システムの試作と効率評価

○田端隆伸・山本貴久・堀 智 (小島カス)・

稲垣直樹 (名工大)

WPT-9. フラクタルアンテナを用いたワイヤレス送電の理論的検討
○桑原義彦・岩堀大希・大塚純季 (静岡大)

WPT-10. [招待講演] 自動車タイヤを介するゼロギャップ走行中給電
大平 孝 (豊橋技科大)

A・P-11. [AP-S Japan Chapter 特別講演] 地域住民と学生との協働によるまちづくりの仕組・課題・成果 (口頭発表)
西村伸也 (新潟大)

28日午前

A・P-1. 3重球面鏡アンテナの設計法 浦崎修治 (広島工大)

A・P-2. 不均質分割モーメント法による解の収束性改善について
○荒畑早希・宇野 亨・有馬卓司 (東京農工大)

A・P-3. FDTD法を用いた周期構造解析における縮退モードの検出手法について
○坂本寛明・宇野 亨・有馬卓司 (東京農工大)

28日午後

WPT-4. 無線電力伝送用接地型ヘリカルアンテナ
○天野智博・平山 裕・菊間信良・榊原久二男 (名工大)

WPT-5. 2つヘリカル素子を用いた送受信ユニットを有する無線電力伝送システムの伝送効率
○星 貴博・袁 巧微 (仙台高専)

WPT-6. ダブルスパイラル共振器のつくる電磁界とそのWPTシステムへの応用
○栗井郁雄 (リユテック)・澤原裕一・石崎俊雄 (龍谷大)

A・P-7. [チュートリアル講演] ワイヤレス電力伝送技術の実用化に向けた課題と取り組み
庄木裕樹 (東芝)

A・P-8. MIMOセンサにおける相関係数の統計的性質に関する検討
○小川 研・山田寛喜・西森健太郎・山口芳雄 (新潟大)

A・P-9. 直接中継型リピータのアンテナ間アイソレーション評価
中野雅之 (KDDI研)

A・P-10. フェーズドアレイアンテナにおける励振振幅位相の誤差低減手法
○栗山 侑・紀平一成・高橋 徹・小西善彦 (三菱電機)

◆無線電力伝送研究会併催, IEEE AP-S Japan Chapter 共催

◎27日研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月27日(木) KDDI研 [締切済] テーマ: マイクロ波ミリ波, 一般

11月15日(木), 16日(金) 東京電機大東京千住キャンパス [9月10日(月)] テーマ: アダプティブアンテナ, 等化, 干渉キャンセラ, MIMO, 無線通信, 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

高橋 徹 (三菱電機)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

☆WPT研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月8日(木), 9日(金) 機械振興会館 [未定] テーマ: 回路・制御技術関連, 無線電力伝送, 一般

★データ工学研究会 (DE)

専門委員長 中野美由紀 副委員長 森嶋厚行・木俣 豊
幹事 義久智樹・吉田尚史 幹事補佐 灘本明代・新谷隆彦

日時 8月1日(水) 10:00~12:00

2日(木) 10:30~16:30

会場 名古屋大学野依記念学術交流館 (名古屋市千種区不老町。
地下鉄: 名古屋駅から東山線: 藤ヶ丘行きに乗りし, 本山駅で
地下鉄名城線右回りに乗り換え, 名古屋大学駅下車。 <http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/higashiyama/>)

議題 ビックデータ工学及び一般

1日午前 情報検索と類似検索

1. 道路網距離での旅行計画の為にインクリメンタル検索方式
○大沢 裕・トウ トウ (埼玉大)・曾根原 登・坂内正夫 (NII)

2. 部分的正規分布に基づくパタン分類法による入試採点誤り検出の検討
○鈴木雅人・北越大輔 (東京高専)

3. A Study on Similar Words Searching
○Zhenglu Yang・Masaru Kitsuregawa (Univ. of Tokyo)

4. Exploration on Efficient Similar Sentences Extraction
○Yanhui Gu・Zhenglu Yang・Miyuki Nakano・Masaru Kitsuregawa (Univ. of Tokyo)

2日午前 ストリーム処理とI/O

1. 確率的なデータストリームに対する問合せ処理手法
○加藤 翔 (名大)・石川佳治 (名大/NII)

2. トランザクショナルなストリームデータ処理の実現方式
○小山田昌史・川島英之・北川博之 (筑波大)

3. VMライブマイグレーションにおける大規模I/O処理挙動に関する一考察
○石田 渉・中野美由紀・豊田正史・横山大作 (東大)

2日午後 情報推薦と教育 (13:30~)

4. 音声情報から抽出した利用者の情報嗜好に基づく情報推薦システムの検討
○本多宏至・鷹野孝典 (神奈川工科大)

5. 震災後の経済状況データベースを使った可視化教材作成
○白田由香利 (学習院大)・橋本隆子 (千葉商科大)・佐倉 環 (JCER)

グラフ処理

6. A Study on Graph Similarity Search
○Haichuan Shang・Masaru Kitsuregawa (Univ. of Tokyo)

7. Empirical Study on Sentiment Classification using Graph-based Semi-supervised Learning Algorithms

○Yong Ren・Nobuhiro Kaji・Naoki Yoshinaga・Masashi Toyoda・Masaru Kitsuregawa (Univ. of Tokyo)

◎1日13:00~17:00, iDBメンター講演会が開催されます。

[問合先]

DE研究会幹事

E-mail: de-org@mail.ieice.org

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

専門委員長 渡辺昌洋 副委員長 伊藤京子・松田昌史

幹事 井上智雄・渡邊伸行

幹事補佐 林 勇吾・小森政嗣・田中貴紘

日時 8月18日(土) 9:00~19:10

会場 立命館大学びわこ・草津キャンパス(草津市野路東1-1-

1. http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_bkc_j.html
林 勇吾)

議題 「行為のタイミングとコミュニケーション」及び一般

1. トラブルシューティングにおけるノンテクニカルスキルの重要性—故障修理を題材として—
○高山千尋・大野健彦 (NTT)
2. 映像対話型行動記録におけるモダリティ間の関係と凝集性
○小泉敬寛・中村裕一・近藤一晃・小幡佳奈子 (京大)・渡辺靖彦 (龍谷大)
3. 展示制作打ち合わせ場面における演技中の振り向きを通じたイメージの共有
○平本 毅 (京大)・高梨克也 (JST/京大)
4. 問題解決状況における多数派と少数派のコミュニケーション過程
○松井隆幸 (名大)・林 勇吾 (立命館大)・三輪和久・寺井 仁 (名大)
5. 認知地図と角度認知の精度とタイミング
○篠原信之・佐藤未来子・並木美太郎 (東京農工大)
6. 語彙発達曲線に見られる階段状の変化の原因についての一考察
○荒木 修・深田 智・尾関基行・岡 夏樹 (京都工繊大)
7. [招待講演] 未定
8. 多人数インタラクション評価のための姿勢推定
○小松和朗・嶋田和孝・遠藤 勉 (九工大)
9. 会話参加者の顔の向きによる発話のアドレッシングを明示化する多人数ビデオチャットシステム環境の構築
○山本紗織・寺谷 望・中村有美香・渡辺成美・林 延徳・竹内勇剛 (静岡大)
10. 2者間遠隔映像コミュニケーションにおける食事の有無の効果
○古川大智・檜垣雄也・井上智雄 (筑波大)
11. 人間とロボットの応答タイミングがコミュニケーションに与える影響
○阪本綾香・林 勇吾・小川 均 (立命館大)
12. VMCシステムを介した共食場面の分析—人はいかにして食べるかと話すことを協調的に管理するか?—
○秋谷直矩 (京大)・武川直樹・徳永弘子・湯浅将英・木村 敦 (東京電機大)
13. 6人会話における非言語情報と場の活性度に関する検討
○高嶋和毅 (東北大)・藤田和之 (阪大)・横山ひとみ (東北大)・伊藤雄一 (阪大)・北村喜文 (東北大)
14. プロト言語的コミュニケーションにおけるリーダー・フォロワーの分化
○宇野良子 (東京農工大)・飯塚博幸 (阪大)・鈴木啓介 (サセックス大)
15. 語りの構造に照応するジェスチャーの同期—2人が語り手になりうる3人会話において語りはどのように構成されるのか—
城 綾実 (学振)
16. 身体運動の記述に基づく空手の組手競技における駆け引きの考察
○西山武繁・諏訪正樹 (慶大)
17. 人と人のタッピング同期に関連した2者間の脳波リズム同期
○川崎真弘・北城主一・山口陽子 (理研)

18. オノマトペの音韻構造とジェスチャーのタイミング分析

細馬宏通 (滋賀県立大)

☆HCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月13日(土) 東京電機大東京千住キャンパス [締切済]

テーマ: 顔とコミュニケーション

【問合せ先】

林 勇吾 (立命館大)

E-mail: yhayashi@fc.ritsumei.ac.jp

◎最新情報は、HCS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~hcs/>

★コンピュータシステム研究会 (CPSY)

専門委員長 天野英晴 副委員長 安里 彰・吉永 努

幹事 入江英嗣・中野浩嗣 幹事補佐 井上浩明

★ディペンドブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康

幹事 中村友洋・土屋達弘

◎本研究会は CPSY 研究会と DC 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 8月2日(木) 13:30~18:30

3日(金) 9:00~18:30

会場 とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町101-5. JR鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ徒歩約20分. <http://www.torikenmin.jp/kenbun/> TEL [0857] 21-8700)

議題 2012年並列/分散/協調処理に関する『鳥取』サマーワークショップ (SWoPP 鳥取2012)

2日 プロセッサアーキテクチャ I (13:30~15:00)

CPSY-1. 2パス限定投機方式におけるループ展開の効果

○本間勇貴・十鳥弘泰・大津金光・大川 猛・横田隆史・馬場敬信 (宇都宮大)

CPSY-2. 分岐予測を応用したループ内パス予測方式の検討

○金海和宏・十鳥弘泰・大津金光・大川 猛・横田隆史・馬場敬信 (宇都宮大)

CPSY-3. 信頼できない OS 上でアプリケーション認証を行うシステム

○山田剛史・五島正裕・坂井修一 (東大)

プロセッサアーキテクチャ II (15:15~16:45)

CPSY-4. フィルムコンピュータ実現に向けたエミュレータ専用小型 CPU の検討

中島康彦 (奈良先端大)

CPSY-5. セレクタ部に着目した演算器アレイ型アクセラレータの高信頼手法

○山中良祐・姚 駿・中島康彦 (奈良先端大)

CPSY-6. 低消費電力アクセラレータ CMA のコプロセッサ化について

○伊澤麻衣・小崎信明・小泉佑介・宇野理恵・天野英晴 (慶大)

GPGPU (17:00~18:30)

CPSY-7. An Optimal Parallel Prefix-sums Algorithm on the Memory Machine Models for GPUs

中野浩嗣 (広島大)

CPSY-8. GPGPU 実装されたブロック暗号のための性能モデルの提案

○西川尚紀・岩井啓輔・黒川恭一 (防衛大)

CPSY-9. CUDA 向けフレームワーク OpenMPC に対する適切

なメモリの自動選択による改良 ○内山寛章・津邑公暁・松尾啓志 (名工大)

3日午前 FPGA・メニーコア (9:00~10:30)

CPSY-1. 高位合成における回路分割の実装 ○國上太旗・天野英晴・宮島敬明 (慶大)

CPSY-2. リコンフィギャラブルシステム向けスケジューリングシミュレータの開発 ○宇田貴重・久我守弘・尼崎太樹・飯田全広・末吉敏則 (熊本大)

CPSY-3. メニーコアアクセラレータ搭載サーバにおけるマルチタスク環境でのスループット向上手法 ○宮本孝道・石坂一久・細見岳生・酒井淳嗣 (NEC)

並列計算 (10:45~12:15)

CPSY-4. 動画画像処理ライブラリ RaVioli における CPU と GPU を併用した自動並列化 ○大平真司・津邑公暁・松尾啓志 (名工大)

CPSY-5. ExpEther を用いたマルチ GPU システムの評価 ○野村鎮平・中浜徹也 (慶大)・樋口淳一・鈴木 順・吉川隆士 (NEC)・天野英晴 (慶大)

CPSY-6. 複数の並列計算環境における光シミュレーション用レイトレーシング法の高速度のための議論 ○蔵野裕己・吉見真聡・三木光範・廣安知之 (同志社大)

3日午後 ネットワーク (13:30~15:00)

CPSY-7. パーセプトロン予測を用いた TCP 輻輳制御 ○黒田隼之輔・谷田直輝・平木 敬 (東大)

CPSY-8. 長距離 TCP 通信時のバースト送信抑制を目的としたウィンドウ更新の細粒度制御手法 ○谷田直輝・稲葉真理・平木 敬 (東大)

CPSY-9. ランダムなネットワークトポロジのためのラック配置最適化 ○藤原一毅・鯉淵道紘 (NII)

クラウド I (15:15~16:45)

CPSY-10. MapReduce 処理系 SSS における Key Value Store アクセス手法の改良 ○中田秀基・小川宏高・工藤知宏 (産総研)

CPSY-11. 分散グラフ処理系を用いた大規模分散システムシミュレータ ○華井雅俊・首藤一幸 (東工大)

CPSY-12. MapReduce による分散システムのシミュレーション ○杉野好宏・華井雅俊・首藤一幸 (東工大)

クラウド II (17:00~18:30)

CPSY-13. 資源プール化アーキテクチャ向け IaaS 運用管理機能の試作と評価 河合 励 (富士通研)

CPSY-14. 分散ストレージを対象としたディスク接続切替による高速なデータ復旧手法 ○小西洋太郎・小野貴継・三吉貴史 (富士通研)

CPSY-15. ネットワークルータにて取得したコンテンツに基づくサイト横断型リコメンデーションサービスの提案 ○増田和紀・西 宏章 (慶大)

3日午前 システムのディペンダビリティ (9:00~10:30)

DC-1. 通信オーバーラップを考慮したアプリケーションレベルチェックポイントフレームワーク 實本英之 (東大)

DC-2. 構造化 P2P ネットワーク Chord のオブジェクト探索プロトコルにおける耐故障性 ○遠藤知輝・小澤一平・新井雅之・福本 聡 (首都大東京)

DC-3. 保証ケースを用いた統合運用管理ツールのディペンダビリティ調査 ○養安元気・若森拓馬・中田晋平・菅谷みどり・倉光君郎 (横浜国大)

センターのディペンダビリティ (10:45~11:45)

DC-4. [招待講演] クラウドセンターのディペンダビリティと省電力化 横田治夫 (東工大)

☆CPSY 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
10月12日(金) 広島大 [8月17日(金)] テーマ: クラウド, ネットワーク及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

安里 彰 (富士通)
TEL [044] 754-3233, FAX [044] 754-3214
E-mail: asato@jp.fujitsu.com

☆DC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
10月29日(月) 機械振興会館 [8月13日(月)] テーマ: ネットワーク環境でのディペンダビリティ

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

土屋達弘 (阪大大学院情報科学研究科)
E-mail: t-tutiya@ist.osaka-u.ac.jp

◎最新情報は, DC 研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

専門委員長 若原俊彦 副委員長 岡本 学
幹事 柁測哲也・山元規靖 幹事補佐 茂木 学

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久
幹事 内藤 整・久保田 彰 幹事補佐 浜本隆之・坂幸浩

★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM)

専門委員長 馬場口 登 副委員長 西村 明・新見道治
幹事 青木直史・日置尋久 幹事補佐 鶴木祐史・川村正樹

日時 8月27日(月) 13:30~18:10
28日(火) 9:00~16:50

会場 山口大学理工学部吉田キャンパス (山口市吉田 1677-1, JR 湯田温泉駅下車。 <http://www.ieice.org/iss/emm/workshop/EMM2012-02.php> 川村正樹)

議題 マルチメディア通信/システム, ライフログ活用技術, IP 放送/映像伝送, メディアセキュリティ, 一般

27日

LOIS-1. 多種料理の調理手順最適化アルゴリズムの拡張
○松島由紀子・船曳信生・中西 透・渡邊 寛 (岡山大)

LOIS-2. 関節リウマチ患者における日常生活情報の収集に関する検討
○伊藤達明・武田十季・藪内 勉・浦 哲也・篠原章夫・定方 徹 (NTT)・西口 周・山田 実・青山朋樹・岡本和也・吉富啓之・布留守敏・伊藤 宣 (京大)・小林 稔 (NTT)

LOIS-3. 人感センサネットワークを用いたスマートビル—焦電型赤外線センサによる人物通過判定に関する一検討—

○秦 淑彦 (広島工大)・正木英行 (三菱電機システムサービス)・木藤太貴 (呉電子計算センター)・伊藤太一 (山口視聴覚機器)

LOIS-4. 実世界データ流通におけるプライバシー保護統計処理技術の実装評価 ○石井 淳・前大道浩之・依田育生 (NTT)

- EMM-5. 埋め込み画像参照型電子透かしについて
○平野貴之・松藤信哉・松元隆博 (山口大)
- EMM-6. 2次元相補系列を用いた電子透かしの回転攻撃耐性
○貞末克也・松元隆博 (山口大)・鳥井秀幸 (神奈川工科大)・小嶋徹也 (東京高専)・松藤信哉 (山口大)
- EMM-7. 電子透かしに対するインバージョンアタックの考察と丸め演算による対策
○大関和夫・魏 遠玉・倉木真生・平川 豊 (芝浦工大)・佐藤清次 (産技短大)
- EMM-8. A video watermarking method to objects robust against various attacks
○Ta Minh Thanh・Koichi Shinoda (Tokyo Inst. of Tech.)
- EMM-9. [招待講演] 徳田 功 (立命館大)
28日午前
- EMM-1. 非線形信号処理による画像の超解像化—ナイキスト周波数を越える高精細化—
○合志清一 (工学院大)・越前 功 (NII)
- EMM-2. 限定色画像に対する多ビット情報埋込法の画質改善
○小澤 慶・今泉祥子・青木直和・小林裕幸 (千葉大)
- EMM-3. A Use of Magnitude-Only Images for Privacy and Content-Aware Image Trading System
○Shenchuan Liu・Masaaki Fujiyoshi・Hitoshi Kiya (Tokyo Metropolitan Univ.)
- EMM-4. SNS 画像投稿時に発生するプライバシー侵害の要因分析
高田さとみ・○小山貴之・町田史門・宋 洋・嶋田 茂 (産技大)
- EMM-5. 読者の印象の色彩化による表紙画像生成の評価
○梶山朋子 (青学大)・越前 功 (NII)
- IE-6. SSR フィルタを用いた目検出及び瞬き検出
○岩上純生・齊藤剛史 (九工大)
- IE-7. 距離画像を用いたリアルタイム指文字認識
○井上 快・齊藤剛史 (九工大)
- IE-8. 葉画像を用いた樹木の認識
○岩田聡大・齊藤剛史 (九工大)
- IE-9. 複数オブジェクトの追跡と分離に基づく屋外大空間における自由視点映像生成
○山田健太郎・三功浩嗣・内藤 整 (KDDI 研)
- IE-10. 望遠鏡写真の像座標からの対象の視準方向の評価—画像トータルステーションでの自動かつ連続観測に向けて—
○片桐重和・服部 進 (福山大)・大西芳幸 (扶桑理科)
- IE-11. 多重解像度分解を用いた自由視点画像合成法
○中嶋俊介・久保田 彰 (中大)
12. 高精細板書型講義動画に関する配信効率化方式
○山口真之介・大西淑雅・西野和典 (九工大)・湯川高志・福村好美 (長岡技科大)・妙中雄三 (東大)
13. 隣接ノード情報に基づく効率的フラッディングに関する一検討
○今泉直哉・宇津圭祐・佐野浩士・石井啓之 (東海大)
14. H. 264/AVC マルチチャンネル映像エンコーダ装置におけるチャンネル間符号量制御機能について
○佐野 卓・横張和也・新田高庸・池田充郎・上倉一人・清水 淳 (NTT)
15. 異種センサ統合によるシームレスな位置検出
○小西勇介・大綱亮磨 (NEC)
- ◆電気学会；通信研究会，映像情報メディア学会；メディア工学研究会連催
○27日招待講演の後，懇親会を予定していますので是非御参加下さい。
☆LOIS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

第一種研究会開催案内

- 11月21日(水)，22日(木) 静岡市産学交流センター〔9月14日(金)〕テーマ：情報セキュリティ，ライフログ活用技術，ライフインテリジェンス，オフィス情報システム，一般
- 【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>
- 【問合せ先】**
山元規靖 (福岡工大情報工学部)
〒811-0295 福岡市東区和白東 3-30-1
FAX〔092〕606-0758
E-mail：nori@fit.ac.jp
- ☆IE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
10月 岩手県民情報交流センター (アイーナ)〔未定〕テーマ：システム LSI の応用と要素技術，プロセッサ，DSP，画像処理技術及び一般
- 【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>
- 【問合せ先】**
内藤 整 (KDDI 研)
E-mail：ie-kanji2011@mail.ieice.org
- ☆EMM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
10月4日(木) 幕張メッセ〔未定〕テーマ：マルチメディアのプライバシー保護最前線
11月 大分〔未定〕
- 【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>
- 【問合せ先】**
新見道治 (九工大)
TEL & FAX〔0948〕29-7724
E-mail：niimi@mip.ces.kyutech.ac.jp

— 四国支部における開催 —

★衛星通信研究会 (SAT)

専門委員長 門脇直人 副委員長 上羽正純・榎木勘四郎
幹事 吉村直子・廣瀬貴史

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 大槻知明・樋口健一
幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス
幹事補佐 須山 聡・星野正幸・増野 淳・森田基樹

○本研究会は SAT 研究会と RCS 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 8月30日(木) 9:15~18:30
31日(金) 9:15~16:30

会場 高知市文化プラザかるぼーと (高知市九反田 2-1, 高知龍馬空港より空港連絡バスで 30 分, はりまや橋観光バスターミナル下車徒歩 1 分。 <http://www.bunkaplaza.or.jp/access/index.html>)

議題 移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

30日午前 RCS1 (大講義室)

RCS-1. ピコ局混在型 HetNet における送信電力低減型時分割干渉制御技術の有効性に関する検討
○伏木 雅・宮崎功旭・王 曉秋・秋元陽介・小西 聡 (KDDI 研)

告 17

RCS-2. LTE-Advanced 向け動的送信ポイント切替のための複数チャンネル品質報告及びチャンネル推定誤差の影響を考慮したスケジューリング方法 ○星野正幸・湯田泰明 (パソニック)・高田智史 (PMCRD)・西尾昭彦 (パソニック)

RCS-3. LTE-Advanced における信号送信停止を併用する動的送信ポイント切替のためのチャンネル品質報告方法及びリソース割当方法の検討 ○星野正幸・湯田泰明 (パソニック)・高田智史 (PMCRD)・西尾昭彦 (パソニック)

RCS2 (大講義室)

RCS-4. 屋内伝搬環境におけるアンテナ構成を考慮した LTE-Advanced 上りリンク閉ループ型 2-by-2 SU-MIMO のスループット特性評価 ○安川真平・川村輝雄・岸山祥久 (NTT ドコモ)・田岡秀和 (ドコモ欧州研)・安藤英浩 (NTT ドコモ)

RCS-5. Conceptual Views and Radio Access Technologies for Future Evolution of LTE-A ○Anass Benjebbour・Yoshihisa Kishiyama (NTT DOCOMO)・Hiroyuki Ishii (DOCOMO Innovations)・Takehiro Nakamura (NTT DOCOMO)

RCS-6. 周波数共用システムにおける非線形歪雑音電力の適応制御手法 ○岡本誠一郎・富里 繁 (岡山大)・藤井啓正 (NTT ドコモ)・秦 正治 (岡山大)・三浦俊二・加山英俊 (NTT ドコモ)

30 日午後 RCS3 (大講義室)

RCS-7. XOR 符号化パリティ圧縮を用いた高符号化率ターボ符号に関する一検討 ○北村康裕・衣斐信介・三瓶政一 (阪大)

RCS-8. 電波環境のトータルレコーディングとその応用 ○唐沢好男・中田克弘・ボンマサック パーワンナー (電通大)

特集セッション (大講義室)

共通-9. [依頼講演] 衛星通信における多偏波空間多重伝送技術の提案 ○夜船誠致・ウェバー ジュリアン・矢野一人・伴 弘司・小林 聖 (ATR)

共通-10. [依頼講演] スペクトラム分割/圧縮伝送におけるソフトウェアを用いた自己スペクトラム再生処理の特性改善 ○増野 淳・阿部順一・杉山隆利 (NTT)

共通-11. [依頼講演] マルチチャンネル信号向けのピーク電力抑圧技術 ○長谷川文大・東中雅嗣・岡崎彰浩・石津文雄 (三菱電機)

共通-12. [依頼講演] 災害対策のための地上/衛星共用携帯電話システムの研究開発について 藤野義之 (NICT)

特別講演/招待講演 (大講義室)

共通-13. [特別講演] 準天頂衛星初号機“みちびき”による民間利用実証の推進状況 松岡 繁 (SPAC)

共通-14. [招待講演] ワイヤレスネットワークにおける周波数利用の展望 梅比良正弘 (茨城大)

特別講演 (大講義室)

共通-15. [特別講演] 静止軌道における通信衛星システムの現状と展望 ○篠塚重隆・茶園英史・青山 暁・齊藤圭佑 (スカパーJSAT)

共通-16. [特別講演] NICT におけるこれからの衛星通信の在り方に関するワーキンググループの活動について ○秋岡真樹・豊嶋守生・これからの衛星通信の在り方に関するワーキンググループ (NICT)

31 日午前 RCS4 (大講義室) (9:15~10:05)

RCS-1. STBC-OFDM を用いる連携ダイバーシチ

○熊谷慎也・長岡 諒・小原辰徳・山本哲矢・安達文幸 (東北大)

RCS-2. 送信/受信 FDE を用いる OFDM-STBC のビット誤り率の理論解析 ○長岡 諒・熊谷慎也・山本哲矢・安達文幸 (東北大)

RCS5 (大講義室) (10:15~11:30)

RCS-3. Performance of High Rate Submatrix Space-Time Codes ○Tatsumi Konishi・Masaru Ito・Masayuki Kagiya・Masakazu Mori (Aichi Inst. of Tech.)

RCS-4. DFT-Precoded OFDMA におけるターボ周波数領域等化及び繰り返し判定帰還チャンネル推定を用いたときの 4 アンテナの開ループ型送信ダイバーシチの特性比較

トウ煉軍 (東京都市大)・川村輝雄 (NTT ドコモ)・田岡秀和 (ドコモ欧州研)・○佐和橋 衛 (東京都市大)

RCS-5. DFT-Precoded OFDMA における LDPC 符号を用いたときの繰り返し判定帰還チャンネル推定のブロック誤り率特性 ○田中良和 (東京都市大)・三木信彦・川村輝雄 (NTT ドコモ)・佐和橋 衛 (東京都市大)

SAT1 (第3学習室) (10:15~11:30)

SAT-6. 次世代衛星センサネットワークにおけるデータのリアルタイム性を考慮した帯域割り当て方法に関する一考察

○川本雄一・西山大樹・加藤 寧 (東北大)

SAT-7. 光衛星通信におけるインターリーブのブロックを基準としたマルチレート LDGM 符号化伝送に関する一検討

○京 拓磨・岡本英二 (名工大)・荘司洋三・高山佳久・豊嶋守生 (NICT)

SAT-8. 遅延許容ネットワークにおける効率的なルーティングに関する一考察

○高橋朝人・西山大樹・加藤 寧 (東北大)・中平勝也・杉山隆利 (NTT)

31 日午後 RCS6 (特別学習室) (13:00~14:40)

RCS-9. アナログネットワーク符号化を用いるシングルキャリア HARQ 双方向中継通信のための送受信協調 MMSE-FDE に関する一検討 ○宮崎寛之・小原辰徳・安達文幸 (東北大)

RCS-10. 無線 BAN のための Decomposable Codes を用いた Hybrid ARQ 方式 ○高林健人・河野隆二・杉本千佳 (横浜国大)

RCS-11. マルチホップ通信における符号化・拡散を用いた誤り制御法 ○佐伯恵理子・杉本千佳・河野隆二 (横浜国大)

RCS-12. 改良型 VOTE-rule に基づく協調センシングにおける協調端末選択法 ○杉本祐亮・杉本千佳・河野隆二 (横浜国大)

SAT2 (第3学習室) (13:00~14:40)

SAT-13. 並走衛星取得データの符号化による情報削減 河東晴子 (三菱電機)

SAT-14. バックファイア一次放射器を用いた衛星通信用小型反射鏡アンテナ ○山本伸一・縫村修次・水野友宏・稲沢良夫・佐藤裕之・土谷牧夫 (三菱電機)

SAT-15. 海洋観測・開発における衛星通信利用の現状と展望 ○浅川賢一・吉田 弘 (海洋研究開発機構)

SAT-16. 小型衛星を用いた準リアルタイム地球観測システムの検討 ○鈴木健治 (NICT)・若森弘二・加藤博憲・小元規重 (有人宇宙システム)

RCS7 (特別学習室) (14:50~16:30)

RCS-17. 無線 LAN システムにおけるユーザ間公平性を考慮した基地局連携受付制御・チャンネル選択のゲーム理論的解析 ○花田光平・山本高至 (京大)・石原浩一・

工藤理一 (NTT)・守倉正博 (京大)

RCS-18. ランダム AIFSN 制御を用いた IEEE 802.11ah 準拠 M2M ネットワークのスループット特性改善

○小川浩平・三軒谷勇貴・守倉正博・山本高至 (京大)・杉原智行 (アライドテレビス)

RCS-19. RoF を適用した無線 LAN システムにおけるスループット特性改善法

○岡元佑正・三村智彦・守倉正博・山本高至 (京大)・大槻暢朗・杉山隆利 (NTT)

RCS-20. ホワイトスペース利用無線 LAN システムにおける帯域可変型マルチチャネルシステム

○水谷圭一・船田龍平・藍 洲・原田博司 (NICT)

SAT3 (第3学習室) (14:50~16:05)

SAT-21. WINDS 再生交換中継方式に適した TCP ウィンドウサイズ制御方法に関する一検討

○片山典彦・浅井敏男・川崎和義・高橋 卓 (NICT)

SAT-22. 衛星中継器帯域と衛星送信電力の有効利用のためのスペクトラム制御衛星回線割当アルゴリズム

○中平勝也・阿部順一・増野 淳・杉山隆利 (NTT)

SAT-23. サンプリングレート変換における補間精度改善法

○井浦裕貴・富塚浩志・岡崎彰浩・石津文雄 (三菱電機)

◎30 日の講演終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

☆SAT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 韓国 [未定] テーマ: 衛星通信一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

SAT 研究会幹事

E-mail: sat_ac-sec@mail.ieice.org

吉村直子 (NICT)

TEL [042] 327-5336, FAX [042] 327-6123

廣瀬貴史 (NTT)

TEL [046] 859-4210, FAX [046] 855-1752

☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 17 日 (水)~19 日 (金) 福岡大 [8 月 10 日 (金)] テーマ: 無線分散ネットワーク, 一般

11 月 15 日 (木), 16 日 (金) 東京電機大東京千住キャンパス [9 月 10 日 (月)] テーマ: アダプティブアンテナ, 等化, 干渉キャンセラ, MIMO, 無線通信, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

樋口健一 (東京理科大)

E-mail: rcs_ac-entry@mail.ieice.org

—— 海外における開催 ——

★超音波研究会 (US)

専門委員長 橋本研也 副委員長 金井 浩・梅村晋一郎

幹事 三浦 光・美谷周二朗 幹事補佐 山口 匡

日時 8 月 27 日 (月) 10:40~17:20

28 日 (火) 10:00~16:20

会場 釜慶大学大淵キャンパス (599-1, Daeyeon 3-Dong, Nam-Gu, Busan, Korea. http://www.pknu.ac.kr/jsp_eng/intro_h_

第一種研究会開催案内

01.jsp 金 茂俊)

議題 一般, 水中音響

27 日午前

1. Focal range control of focused ultrasonic field by curvature changing of transducer

○Jungsoon Kim (Tongmyong Univ.)・Moojoon Kim・Kanglyeol Ha (Pukyong National Univ.)

2. Dependence of ultrasonic frequency on glass scribing

○Chanshin Kang・Seho Kwon・Hojin Park・Younghan Kim (Korea Sci. Acad. of KAIST)・Jung-Hoon Moon (Suwon Sci, College)・Shin Wook Kim (MJ Tech)

3. Sonoluminescence and bubble dynamics in viscous liquids

○Pak-Kon Choi・Takaaki Yamada・Yuuta Takeuchi (Meiji Univ.)

4. Characteristics of Machining time of Brittle Material

○Takuya Asami・Hikaru Miura (Nihon Univ.)

5. Airborne Ultrasound CW-and Pulsed-Doppler Systems for Biomedical Moving Target Study

Yasuhito Takeuchi

6. Determination Method of Acoustical Physical Constants and Their Temperature Coefficients of $\text{La}_3\text{Ta}_{0.5}\text{Ga}_{5.3}\text{Al}_{0.2}\text{O}_{14}$ Single Crystal

○Yuji Ohashi (Tohoku Univ.)・Tomoaki Karaki (Toyama Pref. Univ.)・Hitoshi Yoshida (Tohoku Univ.)・Tao Lv (Toyama Pref. Univ.)・Mototaka Arakawa (Tohoku Univ.)・Masatoshi Adachi (Toyama Pref. Univ.)・Jun-ichi Kushibiki (Tohoku Univ.)

7. 3D-Simulation for temperature rise in tissue mimicking phantom with bone

○Nobuyuki Endoh・Takenobu Tsuchiya・Yu Sakuma・Shin Tanaka (Kanagawa Univ.)

8. The influence of bonding layer on the characteristic of piezoelectric polymer transducer

○Yonggang Cao・Moojoon Kim・Kang-Lyeol Ha (Pukyong National Univ.)・Jungsoon Kim (Tongmyong Univ.)

9. Growth of ZnO Nanostructured Materials using Cylindrical Piezoelectric Vibrator

○Choonghwa Lee・Moojoon Kim・Kang-Lyeol Ha (Pukyong National Univ.)・Jungsoon Kim (Tongmyong Univ.)

10. [招待講演] Estimation of stability of acoustic reciprocal transmission in deep and coastal waters

Hiroyuki Hachiya (Tokyo Inst. of Tech.)

11. Consideration about acoustic measuring method of bended steel pile under the ground in the earthquake

Sayuri Matsumoto・Toshinari Tanaka・Taketsugu Hirabayashi・○Muneo Yoshie・Kageyoshi Katakura・Yoshiaki Kikuchi・Hideki Takahashi (Port and Airport Research Inst.)

12. Development of 4-D underwater acoustic imaging system

○Sayuri Matsumoto・Kageyoshi Katakura・Mitsuhiko Nanri・Norihide Takeyama・Takenobu Tsuchiya・Nobuyuki Endoh・Takatoshi Noguchi (Port and Airport Research Inst.)

13. Development of Non-contact Thickness Gauging Equipment for Underwater Steel Structure

告 19

Kazuhiro Shirai (Port and Airport Research Inst.)

28 日午前

1. Performance of Orthogonal Frequency Division Multiplexing in Highly Reverberant Water Tank ○Woo Yang · Chulwon Seo · Jihyun Park · Kyu-Chil Park · Jong Rak Yoon (Dept. of Information and Communication Engr.)
2. Measure of Effectiveness Analysis for Tracking based on Detection in SONAR system ○Jung-Hong Cho · Jea Soo Kim (Korea Maritime Univ.) · Seongil Kim (Agency for Defense Develop.)
3. Optimization of 1-3 Piezocomposite Material Structures for Underwater Acoustic Transducers ○Jinwook Kim · Seonghun Pyo · Yongrae Roh (Kyungpook National Univ.)
4. Bearing Error Estimation of in Inhomogeneous Ocean Applying the Three-Dimensional BELLHOP Propagation Model ○Michael Porter · Jungsoo Park · Jooyoung Han (HLS Research) · Young-Nam Na (Agency for Defense Develop.)
5. A method of calculating time-varying characteristics based on sparse channel estimation for underwater acoustic communications ○Hyeonsu Kim · Jongpil Seo · Gunwoo Park (Inha Univ.) · Seongil Kim (Agency for defense depart.) · Jaehak Chung (Inha Univ.)
6. [招待講演] Ultrasonic 2D Matrix Array Transducer for Volumetric Imaging in Real Time Yongrae Roh (Kyungpook National Univ.) Jongkil Lee (Andong National Univ.)
8. Fiber-Optic Ultrasonic Hydrophone Using Short Fabry-Perot Cavity with Multilayer Reflectors ○Kyung-Su Kim · Yosuke Mizuno · Kentaro Nakamura (Tokyo Inst. of Tech.)
9. Hollow cylindrical titanium pipe cavitation sensor using hydrothermal synthesized lead zirconate titanate poly-crystalline film as piezoelectric element ○Shinichi Takeuchi · Michihisa Shiiba · Yuki Uemura (Toin Univ. of Yokohama) ·

Takeyoshi Uchida · Tsuneo Kikuchi (AIST) ·

Minoru Kurosawa (Tokyo Inst. of Tech.)

10. Target strength pattern measurement of juvenile chum salmon (*Oncorhynchus keta*) in a tank by the controlled method ○Kouichi Sawada · Tomohiko Matsuura · Hideaki Aono · Akihiko Hashiba (FRA)
11. Simulation of Source Localization using Time Reversal Mirror in Shallow Water ○Bok Kyoung Choi · Byoung-Nam Kim · Seong Hyeon Kim · Bong-Chae Kim (Korea Inst. of Ocean Sci. and Tech.)
12. SVM based Classification Algorithm for Transient Signals under Ocean Background Noise ○Juho Kim · Tae-Hoon Bok · Jinho Bae · Dong-Guk Paeng · Chong Hyun Lee (Jeju National Univ.) · Seongil Kim (Agency for Defense Develop.)
13. ROK-US Joint Acoustic Experiment at the East China Sea ○Seongil Kim (Agency for Defense Develop.)

◆日本音響学会；超音波研究委員会，海洋音響学会，韓国音響学会嶺南支部，釜慶大学音響振動工学研究所，韓国音響学会，IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月24日(月) 秋田大〔締切済〕テーマ：一般

10月22日(月)，23日(火) 金沢工大〔8月16日(木)〕
テーマ：一般

11月29日(木) 静岡大〔9月14日(金)〕テーマ：非線形音響，一般(共催：非線形音響研究会)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

美谷周二朗(東大)

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

三浦 光(日大)

TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265

E-mail: miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>